

地域資源：農林水産物

事業分野：食品・加工・販売、観光・旅行

事業主体：観光DMO、飲食店、食品加工業者等

○大田市産アナゴの域内消費を拡大するため、観光DMO*、飲食店や食品加工業者からなる協議会を立ち上げ、料理コンテストの開催や出前授業を通じたブランド化を推進。アナゴ市場価格の上昇により、漁業者の所得向上にも寄与。

基本情報

- 所在地：島根県大田市
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」グランプリ (R5)
 - ・第9回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局 奨励賞 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・大田の大あなご
 - ・あなご天井
- 活用した支援施策：(なし)

取組の概要

- 漁獲高の大半が県外に出荷される大田市産アナゴの域内消費を拡大するため、観光DMO*や飲食店等を巻き込んで協議会を立ち上げ。料理コンテストの開催や出前授業を通じて、「大田の大あなご」の大きさや美味しさをPRし、ブランド化を推進。
- 市内の飲食店におけるあなご料理の提供や、市内の加工業者によるあなご商品の開発により、大田市を訪れる観光客向けの新たな需要を喚起。アナゴの市場価格上昇により、漁業者の所得向上にも寄与。
- 大あなごを活用した事業展開は、行政、学校等様々な機関へ波及しており、警察署では「大あなご」の防犯啓発標語を作成するなど、市を挙げてPRを推進。

防犯啓発標語 (大田警察署)
あんしんフィルターを必ず利用
なりすましや乗っ取りにご用心
ごかいしないで！「無料」の落とし穴
めいわくメールに返信しない
知らない人と、直接会わない



あなご料理コンテスト
入賞作品



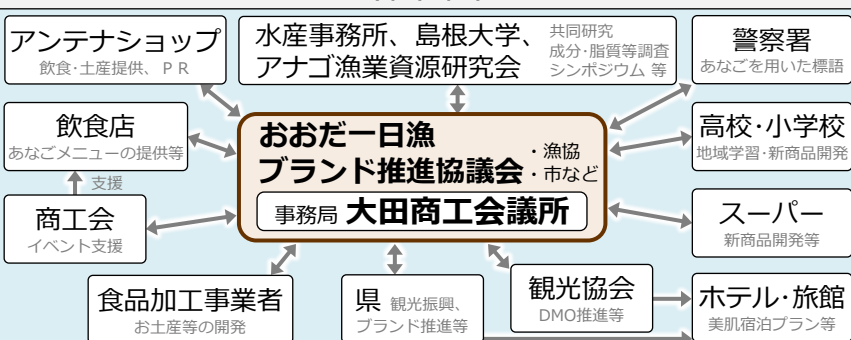
小学校での出前講座



行列ができる飲食店で
提供されているあなご天井

* 観光DMO…観光地域づくり法人 (Destination Management/Marketing Organization)

体制図



取組の成果

- 市内取扱量 : 0.2t (H30) → 38t (R4)
- 市場での競り値 : 約600円/kg (H30) → 約1,300円/kg (R4)
- 料理提供店舗数 : 2店舗 (H30) → 30店舗 (R4)
- 加工品数 : 1種類 (H30) → 19種類 (R4)
- 飲食店・加工商品の年間売上 : 約270万円 (H30) → 約5億円 (R4)

ウェブサイト▶<http://www.ohdacci.com/>

フェイスブック▶<https://www.facebook.com/ohdacci>

株式会社 エーゼログループ

地域資源：森林、ジビエ、うなぎ、多様な人材
事業分野：農林水産業、移住・起業支援、福祉
事業主体：総合地域商社、起業家、地方自治体

- 「未来の里山づくり」をテーマとする地域総合商社として、起業人材の育成、森林ブランド等の農林水産物販売、福祉事業を展開。
- 地域メディア「Through Me」「西栗倉アプリ村民票」「西栗倉村と暮らすふるさと納税特設サイト」の運営を通じて関係人口を創出。

基本情報

- 所在地：岡山県西栗倉村
- 選定表彰：
 - ・平成26年地域再生大賞 準大賞（森の学校）
 - ・平成27年第1回ウッドデザイン賞最優秀賞（農林水産大臣賞）（森の学校）
 - ・令和3年ふるさとづくり大賞 団体表彰（総務大臣表彰）（エーゼロ）
- 主力商品・イベント：
 - ・ユカハリタイルなど木材加工製品等
 - ・起業プログラム（TAKIBI等）
 - ・地域おこし協力隊研修等
 - ・森のうなぎ、森のジビエ、いちごなど
- 活用した支援施策：
 - ・地方創生推進交付金（内閣府）
 - ・農林水産業みらい基金
 - ・事業再構築補助金（中小企業庁）

取組の概要

- 2009年に地域が主体的に森林等の地域資源の活用と、地域のお客様づくりに取り組むために、西栗倉村民や西栗倉村役場が株主となり設立された「株式会社西栗倉・森の学校」と、2015年に人や自然の本来の価値を引き出し、地域経済を醸していくことを目的に設立された「エーゼロ株式会社」この2社が合併し2023年に生まれたのが「株式会社エーゼログループ」。現在は、北海道厚真町、滋賀県高島市においても事業展開。
- 経済資本事業：ローカルインキュベーション事業、移住・起業支援関連事業
- 社会関係資本事業：関係人口創出事業、ふるさと納税業務、アプリ村民票※1、情報サイトの運営
福祉事業（障害者就労支援、高齢者（介護）福祉事業）、建築・不動産事業
- 自然資本事業：苺農園、うなぎ養殖、ジビエ肉加工、蜂蜜などの生産・加工・販売、レストラン事業、木材加工流通事業



アプリ村民票

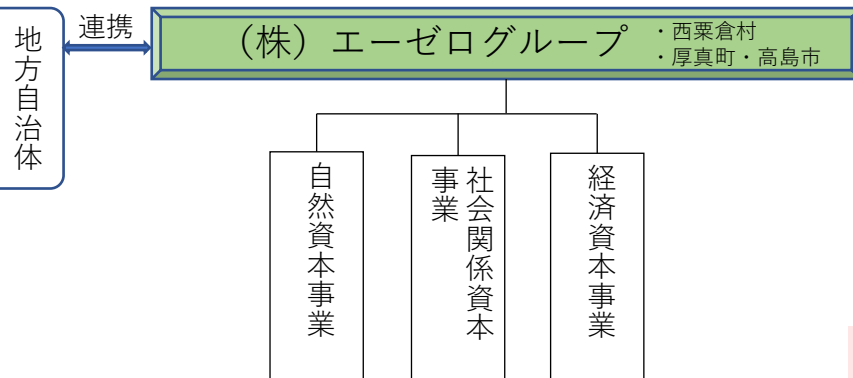


西栗倉ローカルベンチャースクール



苺生産

体制図



取組の成果

- 従業員数：115人(社員61人、パートスタッフ54人)※役員除く
- 売上：約10億円
- 起業家数：全体約50件（うちローカルベンチャー支援関連 15件）
- 移住者人口：約200名（R4.12月）

※1 西栗倉村の情報（起業、観光、仕事など）を受けられ、どこにいても村に関われるアプリ。村の施設訪問やイベントに参加すれば特典を得られるポイント付与。西栗倉村役場からこのアプリの開発と運営を受託している。

ウェブサイト ▶ <https://www.a-zero.co.jp/>

FARM RESORT あわのわ

(東栗倉農泊推進協議会)

地域資源：農家民宿・カフェ、農林水産物、自然公園

事業分野：食品、観光・旅行、アウトドア

事業主体：体験施設の事業者、農林漁業者

○古民家を改修した宿泊施設を中核として、協議会の会員が地元産食材を使用した食事、地域の多様な資源を活用した体験プログラムを提供することにより、認知度の向上、交流人口の増加を実現。

基本情報

みまさか

- 所在地：岡山県美作市
- 主力商品・イベント：
 - ・古民家活用の農家民宿
 - ・魚のつかみどり体験
 - ・屋外シアター（蔵シネマ）
- 活用した支援施策：
 - ・農山漁村振興交付金 農泊推進対策（農泊推進事業、人材活用事業）（R1～2）

取組の概要

- 地域おこし協力隊員が平成27年に古民家を改修し、農家民宿を開始。地域を巡るツアー（里山デイズ）の定期的開催を経て、令和元年に農泊推進協議会を結成。
- 古民家を様々な体験を行う中核施設と位置付け、自ら改修を重ね、現在はグランピング体験ができる宿泊施設として運営。
- 農山漁村振興交付金の活用により、地元産の野菜、川魚、ジビエを使った料理メニューのほか、魚のつかみ取りや蔵の壁面をスクリーンとして活用した屋外シアター（蔵シネマ）などの体験プログラムを新たに開発。
- 地域内外の多様な事業者との連携を進め、周辺地域全体をフィールドとした体験プログラムを年々増加させ、認知度の向上と交流人口の増加を実現。



一棟貸しの宿



地元食材を使った食事メニュー



魚のつかみ取り体験

体制図

FARM RESORT あわのわ (東栗倉農泊推進協議会)

協議会会員

観光協会、ボランティア団体

宿泊の提供
農家民宿

食事の提供
カフェ

体験・交流機会の提供
養魚場、地元農業者

ジビエの提供

周辺地域の事業者（ジビエ、いちご狩り体験、楽器作り体験等）

取組の成果

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| ○あわのわの宿泊者数 | : 311人 (R1) | → 532人 (R5) |
| ○体験プログラム参加者数 | : 94人 (R1) | → 186人 (R5) |
| ○体験コンテンツ数 | : 18種類 (R1) | → 33種類 (R5) |
| ○食事メニュー数 | : 2種類 (R1) | → 8種類 (R5) |

ウェブサイト▶<https://awano-wa.com/>

真庭あぐりガーデンプロジェクト

地域資源：農林水産物（野菜）

事業分野：食品、福祉、環境

事業主体：地域商社、地域団体、市

- 地域商社と連携し、規格外野菜を活用した調理キット「お節介野菜セット」の開発・販売に取り組むことにより、食品ロスの削減、生産者の所得向上、多世代が活躍できる場の提供を実現。

基本情報

- 所在地：岡山県真庭市
- 選定表彰：
 - ・第11回グッドライフアワード 地域コミュニティ部門 環境大臣賞（R5、環境省）
 - ・第11回「ディスカバー農山漁村の宝」中国四国農政局選定（R6）
- 主力商品・イベント：
 - ・カット野菜（お節介野菜）
- 活用した支援施策：
 - ・（なし）

取組の概要

- 地元の規格外野菜をカットし、調理キットとして商品化する「お節介野菜プロジェクト」を地域商社と連携して実施。食品ロスを削減しながら生産者の所得を向上。
- 市や人権センターと連携しながら、高齢者グループや引きこもりの若者、乳幼児を育てる保護者のグループなど、幅広い世代に対し、加工分野での活躍の場を提供。
- 地域商社による消費者分析や本プロジェクト参加者の意見を基に、新商品の共同開発を進めており、商品数および製造・販売実績が年々増加。



カット野菜の作業をする
高齢者グループ

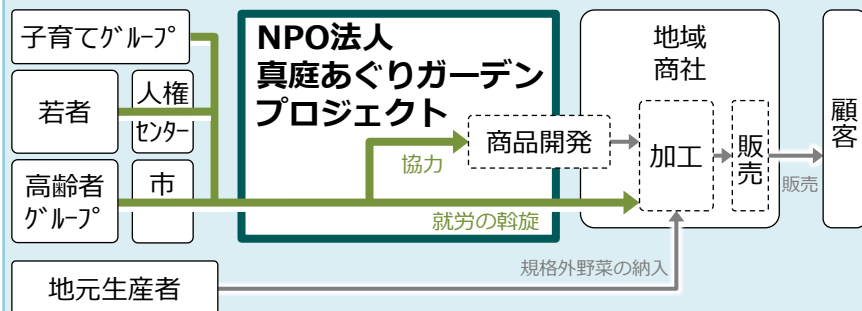


規格外の地元農産物を使用した
「お節介野菜」



お節介野菜販売の様子

体制図



取組の成果

- 調理キット「お節介野菜」の製造数
：約1.9万袋（R2） → 約5.4万袋（R6）
- 商品ラインナップ
：52種類（R2） → 116種類（R6）
- 加工・製造作業数
：18人（R2） → 108人（R6）
- 食品ロス削減量
：6t（R2） → 36t（R6）

ウェブサイト▶<https://npo.maniwa-agurigarden.com/>

広島みはらプリンプロジェクト 実行委員会

地域資源：農水畜産物、観光
事業分野：食品、観光・旅行、教育、イベント
事業主体：商工会議所、地域連携DMO、関係団体

○地域の海・山・里の豊富な食材を一つの取組に巻き込むコンテンツとして「プリン」に着目し、官民連携のまちおこしを実施。1次生産者等の所得向上や付加価値向上に向けて催事出店、販路開拓等を実施。

基本情報

- 所在地：広島県三原市
- 選定表彰：
 - ・第10回「ディスカバー農山漁村の宝」(R5)
 - ・日本商工会議所事業活動表彰 (R4)
- 主力商品・イベント：
 - ・広島みはらプリン（デザート、デリカ）
 - ・ご当地プディングフェスティバル
- 活用した支援施策：
 - ・三原市地域経済活性化提案事業（三原市事業、R4）
 - ・HIROSHIMA FOOD HEROES CHALLENGE（広島県事業、R5）

取組の概要

- 三原市、三原商工会議所、地域の企業等が連携し、三原市の食の魅力を全国に発信することを目的に「広島みはらプリンプロジェクト実行委員会」を発足。
- 三原の食材を一つ以上使用して、三原を応援する人(店舗)によって作られたプリン「広島みはらプリン」として「デザート」と「デリカ（総菜）」の2カテゴリーで認定。催事への出店や積極的なプロモーション、販路の開拓など行い、1次生産者等の所得向上や付加価値向上へ寄与。
- テレビ、新聞、SNS、ラジオなど積極的なメディア活用、年に2回のガイドブックの発行、「ご当地プディングフェスティバル」の開催等、幅広いプロモーションを実施。
- 市民への浸透を図りながら、学校給食への採用や食に関する授業とのタイアップなど、教育分野との連携をさらに広げていく計画。



広島みはらプリンのロゴマーク



年2回発行するガイドブック

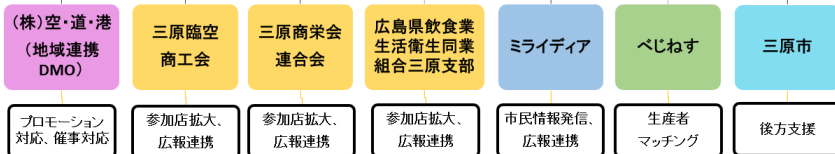


ご当地プディングフェスティバル

体制図

広島みはらプリンプロジェクト実行委員会

三原商工会議所
全体統括事務・予算管理・問合対応



取組の成果

- 販売店*1及び催事売上：10万円 (R3) → 1,287万円 (R4)
- 催事出店回数：1回 (R3) → 27回 (R4)
- 参加店舗*2売上：未確認 (R3) → 1,400万円 (R4)
- 市外参加店舗数：0件 (R3) → 1件 (R4) → 3件 (R5)

*1 販売店：JR三原駅構内販売ブース

*2 参加店舗：広島みはらプリンとして認定された商品を製造販売する店舗

ウェブサイト▶<https://xn--v9j5a5ayy9c7b5140czuc.jp/>

株式会社 瀬戸内ジャムズガーデン

地域資源：農林水産物

事業分野：食品、観光・旅行、教育

事業主体：地元企業、生産者、観光事業者、教育機関

○連携農家等の栽培果実類をジャム・リキュールに加工し、スイーツを販売するカフェの観光スポット化など、6次産業化や観光資源創出を実践。地域内外の多様な組織や事業体と連携し、移住者支援や魅力の発信を行う等地域に貢献。

基本情報

- 所在地：山口県周防大島町
- 選定表彰等：
 - ・農林水産祭「多角化経営部門」日本農林漁業振興会会長賞（R3）
 - ・第50回日本農業賞「食の架け橋部門」大賞（R2）
 - ・第5回「ディスカバー農山漁村の宝」（H30）
 - ・総合化事業計画認定（H25）
- 主力商品：
 - ・果物（柑橘、イチゴ、いちじく等）を使用したジャム、スイーツ等
- 活用した支援施策：
 - ・6次産業化ネットワーク活動交付金（H26）
 - ・経営継続補助金（R2）

取組の概要

- 契約農家から高価買取することで農家の所得向上に貢献しているほか、耕作放棄地を借りて自社農園で栽培。
- 年間180種類もの地域性豊かなジャムを生産するとともに、加工場に併設した直売施設やカフェで自社のジャムやスイーツを提供。
- 酒造免許を取得し、レモンチェッコ製造のため、特命農業部員（クラウドファンディング参加者）と共に柑橘畑の整備から実施。現在は農泊施設の建設を行っている。
- 移住希望者と地元企業等とのマッチングや、移住希望者向けツアー、高校・大学での講演やインターンシップ受入れなどを通じ、島に人を呼び込み域内で経済を循環させる持続可能な地域づくりを実施。



ジャム加工の様子

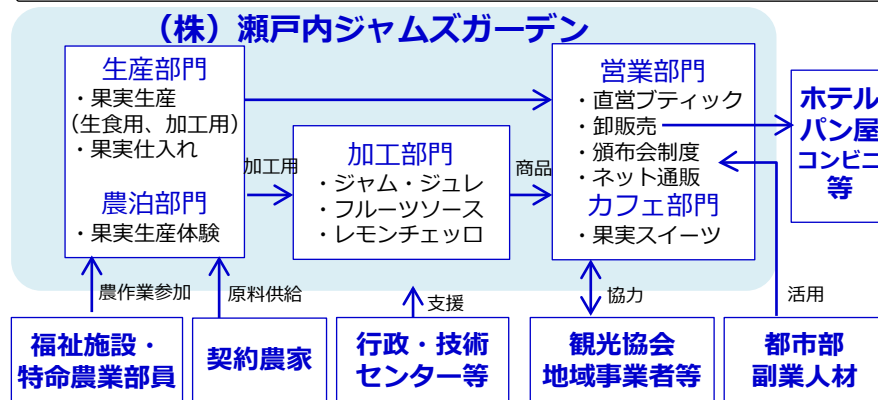


製造・販売している農産加工品



ガーデンテラスの景観

体制図



取組の成果

- 契約農家の所得向上（契約農家からの高価買取）
- 直営店来訪者数：8.5万人/年（2022年）
- 移住希望者向けツアー実施により移住者増加に貢献
- 特命農業部員制度により島との関係人口創出に貢献

ウェブサイト ▶ <https://www.jams-garden.com/>